



平成30年 12月 4日
11時 25分 受領

平成30年 月 日

伊根町議会議長 様

伊根町議会議員 佐戸 仁志



一般質問通告書

次のとおり通告します

質問事項	質問の要旨	質問の相手
来町する外国人対策は	<p>本町に来町する外国人観光客は年々増加しておりこれから倍増するのではといわれている。</p> <p>敷地内に入り写真を撮ったり、多数で散策し大きな声でしゃべる等マナーが悪く、恐怖を感じる事さえある。</p> <p>その防衛として赤色パイロン、黄黒色のトラロープ等で進入しないようする人もおり伊根浦の景観が悪くなっている。</p> <p>ますます増えるであろう来町外国人に対し宿泊・観光・防犯等、町としての対策は考えているか。</p>	町長

発言時間 約 20 分

- (注)
- 1 質問の要旨は、具体的に記載すること
 - 2 質問の相手は、町長、教育長とする



平成 30 年 12 月 4 日
11 時 25 分 受領

平成 30 年 12 月 4 日

伊根町議会議長 様

伊根町議会議員 中嶋 章



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問事項	質 問 の 要 旨	質問の相手
国道 178 号線の整備について	<ul style="list-style-type: none">生活の生命線である道路整備は今後の本町の命運を左右する課題と言っても過言ではないと考えます。抜本的な対策として日置から長江間を強靱なバイパストンネル化を要望すべきと考える。今後どのように国、府に働きかけるのか。	町長
移住、定住促進対策の関連事業について	<ul style="list-style-type: none">地域おこし協力隊のこれまでの受け入れ人数、実績、また任用後の地域の定着の現状をお示し下さい。地域おこし協力隊の制度を活用して住民の生活の利便性に結びつく地域運営の買物施設の新設を提案する。若者の移住、定住促進対策としても効果があり地域の経済循環も生まれると考える。地域活性の原動力となる町主導の施設を整備してはどうか。	町長
観光振興策について	<ul style="list-style-type: none">伊根地区の観光関連施設の整備もほぼ完了したように感じる。町長は今年の年頭の抱負の中で本庄浦嶋漁港でのボルトリングシーカヤック等の利活用の可能性を探ると述べておられる。使われなくなった本庄浦嶋漁港の漁業施設を有効活用して大自然に触れ合えるアウトドアのレジャー拠点として整備し新たな伊根町の魅力を発信して、観光客を呼び込む施策を考えてはどうか。	町長

発言時間 約 20 分

- (注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること
2 質問の相手は、町長、教育長とする。



伊根町議会議長 様

平成 30 年 12 月 4 日

11 時 25 分 受領

平成 30 年 12 月 4 日

伊根町議会議員

松山 義宗



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問相手
災害復旧は	平成 29 年度、台風 18、21 号による町内災害箇所復旧工事は、京都府分を含め完了しているのかまた、未完了についての進捗状況、今後の見通しについて特に農家の懸念がみられる。町長の見解を伺います。	町長

時間 15 分



3-1

平成30年 12月 4日
11時 25分 受領

平成30年 12月 4日

伊根町議会議長 様

伊根町議会議員 和田義清



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
メガソーラー導入について	<p>11/10 付けの京都新聞にてメガソーラー導入を町長は主張された。当然、町の為になると判断しての主張と考えるが、今後の説明や動向によって住民代表である一議員として注視していきたい。</p> <p>現在、メガソーラー導入及び設置については、府内を含め全国の自治体で賛否両論を含めた様々な議論がされている。</p> <p>民主党政権時で東北大震災発生直後は、メガソーラー導入、設置によるメリットがメディアでも数多く取り上げられていた。当時は今後の再生可能エネルギーの新たな活用と方向性に大きな期待感が寄せられていたと記憶する。</p> <p>しかし、度重なる自然災害発生に比例し、災害発生時の危険性を中心としたデメリットも報道されている。</p> <p>よって以下の点について町長の見解を伺う。</p> <p>(1) 景観上、伊根地区での設置は不可能と考えるが、設置予定地区は伊根地区以外と想定しているのか？</p> <p>(2) 家庭向け自立型再生エネルギー導入事業は今後も合わせて継続する予定なのか？</p> <p>(3) 現時点でメガソーラー導入及び設置によるメリットは？</p> <p>(4) 自然災害発生時によるメガソーラーの危険性等のデメリット及びその防止策をどのように想定しているのか？</p> <p>(5) メガソーラー導入、設置にあたって条例制定の予定はあるのか</p>	町長

発言時間 約30分

(注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること
 2 質問の相手は、町長、教育長とする。

2-2

平成30年 12月 4日
11時 25分 受領

平成 30 年 12 月 4 日

伊根町議会議長 様

伊根町議会議員 和田義清



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
観光について	<p>町長が主張する『無い物ねだりをする事なく、今、在るものを活かした身の丈にあった地域・まちづくりを!』また、『伊根浦を観光の核とし、交流人口をもって地域の活性化を目指し、定住人口の流出に歯止めをかける』部分は深く同感すると共に強く賛同する。</p> <p>今後、町の魅力と可能性に更に磨きをかける為には、伊根浦を中心に我が町に来る観光客の動向を出来る限り詳細に把握し、データ化して蓄積していく必要があると考える。</p> <p>そして、町の観光の核である伊根浦で得られた集客力を活かした波及効果が町全体に浸透していけば、町全体の活性化に繋がり更なる希望と可能性が見え、町長が主張する定住者の流出にも歯止めがかかると予測する。</p> <p>地域ごとにも各々の諸事情や課題もあり、解決し実現するのは一朝一夕とはいかないと予測するが、二元代表制の下、実現に向けて共に汗を流していきたいと思う。</p> <p>そこで以下の点について町長の所見を伺う。</p> <p>(1) 現在どのような方法で来町した観光客数及び国別の観光客の動向を把握しているのか?</p>	町長

発言時間 約 30 分

- (注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること
2 質問の相手は、町長、教育長とする。

2-3

平成30年 12月 4日
11時 25分 受領

平成30年 12月 4日

伊根町議会議長 様

伊根町議会議員 和田義清 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
観光について	<p>(2) 現在、伊根浦に来る観光客数は、町外である近隣の地区の宿泊施設を中心に少なからず波及効果をもたらし、今後も増加傾向もしくは維持されていくと予測する。今後更なる観光を中心とした交流人口を伸ばしていくためには、伊根町を訪れる観客の詳細な動向を出来る限り正確に把握し、数値化、データ化したものを蓄積して活かす必要があると考える。それは今後の地域・まちづくりを考えていく上で重要なツールの一つとなると予測する。当町を訪れる観光客の詳細な動向を把握しデータ化、蓄積していく事に対し、予算を組み人員を増強して挑む価値があると考えますが、町長の見解を伺う。</p> <p>(3) 道の駅敷地内に隣接するホテル建設は住民の方々の理解を得られず白紙となったが、この機会に、町内の既存の施設（例えば筒川文化センター等）または他の空き施設を活用し、伊根浦観光で得られる集客数の波及効果を出来る限り宿泊する事を中心として町全体に広めていく施策を講ずる良い機会と考える。先に述べたように地域毎に諸所の事情や課題はあり、一朝一夕とはいかないと予測するが町長の見解を伺う。</p> <p>(4) (3)で述べたように伊根地区で得られた集客の波及効果を伊根地区以外の他地区にもたらし町全体で経済効果として得ていくためには、交通手段の確保が課題として予測される。</p> <p>しかしながら、運転手不足と人口減少の影響により全国的なバス路線の廃止も、近年、増加傾向である。11/1～30にも行われ過去にも度々実証実験された電気低速自動車の運行結果を検証・考慮に入れ今後を見通し、観光客にも地域住民にも利便性の高い交通手段を講じていく必要があると考えるが、町長の見解を伺う。</p>	町長

発言時間 約30分

(注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること
 2 質問の相手は、町長、教育長とする。



平成 30 年 12 月 4 日
11 時 25 分 受領

平成30年12月4日

伊根町議会議長

様

伊根町議会議員

山根 朝子



一般質問通告書

次のとおり通告します

質問事項	質問の要旨	質問の相手
通学の安全対策について	<p>学校保健安全法第27条は「学校安全計画」の策定とその実施を明記している。多くの自治体では通学路の安全に関しては、教育委員会、学校、PTA、警察、道路管理者、自治体代表者などで構成された「通学路対策推進会議」を設置し、通学路の交通安全プログラムを作成し、合同点検、対策の実施、対策効果の把握、対策の充実といったPDCAサイクルにのっとり、より安全な通学路を確保する取り組みが行われている。本議会の一般質問でも、通学路の安全対策について、特に本庄小学校の冬季の積雪時の安全対策について質問がされてきた。今回は通学路の安全対策の実施状況と対策の効果を伺いたい。①伊根町でも「通学路対策推進会議」が設置され、合同点検はされているのか。②通学路の危険個所は、具体的にどこだと把握しているのか。公表はされているのか。③危険個所の対策をどのように立てているのか。その効果について検討されているのか。④学校、PTAとの連携はどのようにされているのか。⑤積雪時に本庄小学校の徒歩で通学する児童の安全対策をどのように考えているのか。2012年の一般質問での答弁では、緊急対応としてのスクールバスの利用も考えるとあったが、大雪が降り続き、除雪が遅れるというような事態が発生した場合、スクールバスでの対応がなされるのか。</p>	教育長
	発言時間	約 15 分

(注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること

2 質問の相手は、町長、教育長とする。



平成30年12月4日
11時 25分 受領

平成30年12月4日

伊根町議会議長 様

伊根町議会議員 大谷 功 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
○小学校複式学級の解消について	小学校の児童数の状況と、複式学級の状況はどうなっているか伺う。また保護者からは複式学級の解消について検討してほしいとの意見も聞くが、保護者の意見の把握は出来ているか伺う。児童に教育の質を保障し、保護者に教育条件の不安をなくすために、教員加配措置によって複式学級解消を求める。	教育長

発言時間 約 15 分

- (注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること
2 質問の相手は、町長、教育長とする。



平成 30 年 12 月 4 日
11 時 25 分 受領

平成 30 年 12 月 4 日

伊根町議会議長 上辻 亨 様

伊根町議会議員 濱野 茂樹



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
町民憲章について	<p>1987 年に制定された伊根町民憲章の推進に向けた行政の取り組み、成果や課題、今後について、町長の見解を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none">・町民憲章を変える考えはあるのか。・学校教育では、町民憲章をどのように教えているのか。・役場各課に町民憲章を記載した「クレドカード」を導入し、さらなる住民サービス向上、職員の就業意欲の向上、意識改革を進めるべきであるが、その考えはあるか。 <p>※「クレド」とは・・・「志」「信条」「約束」を意味する言葉</p>	町 長
地域担当職員制度の導入について	<p>町民ニーズを的確に把握し、施策にいかすため、広聴機能の更なる充実を図るなど、情報の受発信を効果的に行うことで、行政と町民がお互いに顔が見える、より開かれた町政、町民や各種団体と行政が連携協働した自助、共助、公助によるまちづくりの必要性は言うまでもなく、第 5 次伊根町総合計画でも、現場へ出て、地域の実態を把握し、課題解決に繋がる新しい発想ができる職員の育成に努めることや住民の声がスムーズに行政へ届くしくみ等が掲げられている。これらを実践するには、生活環境、教育、福祉、防災、防犯などの求められる行政サービスを、多様化する町民ニーズ、地域の実情により合致させ、効率よく、しなやかに、そして、効果的に提供していくことが求められているものと考えます。</p> <p>町民との連携協働を推進するためにも、各地域を担当する職員を任命し、職員が地域に寄り添い、地域の実情、課題、問題等を把握して、その内容を各種施策に反映し、より良い環境をつくるために地域担当職員制度を導入することは、新たな行政サービスの在り方としてとても有効な手段の一つと考えるが、町長の見解を伺う。</p>	町 長

<p>地域おこし協力隊の積極的な活用について</p>	<p>総務省が 2009 年度に創設した地域おこし協力隊は、今年度で 10 年目を迎え、2017 年度の隊員数は約 5 千人となっており、国は 6 年後には 8 千人を目指すとしている。</p> <p>協力隊員は人口減少や高齢化が進む地域にあつて、一定期間、地域に居住し農業の応援、住民の生活支援、地域の情報発信等、多様な活動を行っており、2017 年 3 月末調査時点では、任期終了後も約 6 割が同じ地域に定住されており、同一市町村内に定住した隊員の約 3 割は自ら起業し、地域の活性化や定住人口の増加につながっている。</p> <p>当町においても、既に企画観光課所管の事業の中で受入れており、協力隊員は、それぞれなくてはならない人材として活躍している。</p> <p>農林水産業、福祉、教育等、他の分野でも隊員を受入れ可能と考えるが、当町における地域おこし協力隊の更なる拡充と今後の方向性について、町長の見解を伺う。</p>	<p>町 長</p>
----------------------------	--	------------

発言時間 約 30 分

- (注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること
2 質問の相手は、町長、教育長とする。